

---

---

## 第3章 分析視点別結果

---

---

# 第3章 分析視点別結果

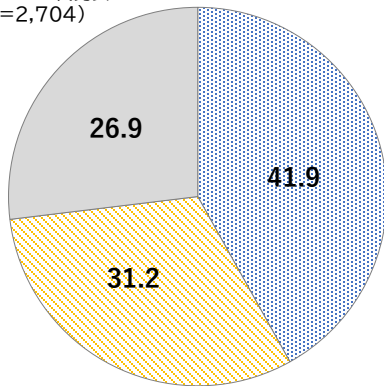
## 1. 独身中高年を取り巻く状況

※中高年=男女40代-50代を対象としている

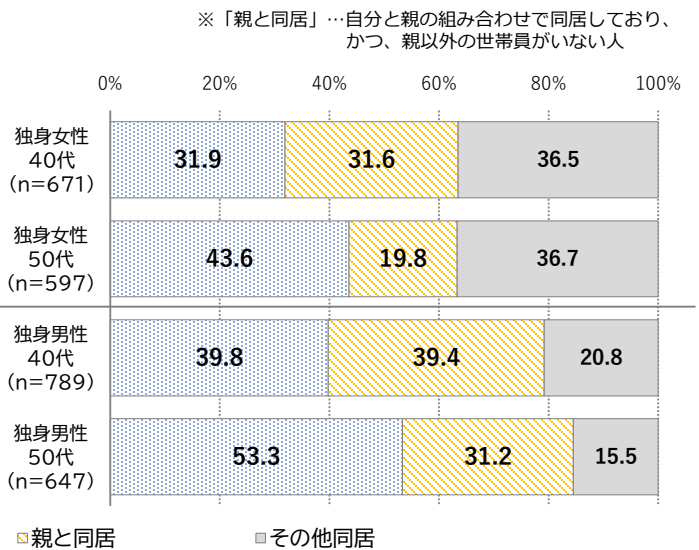
### (1) 現在の同居形態

・中高年の状況について、現在独身の40-50代男女に絞り、現在の同居形態について見たところ、40-50代男女全体では、「一人暮らし」が41.9%と最も高く、続いて「親と同居」で31.2%。  
 ・男女別・年代別にみると、男女ともに40代で「親と同居」の割合が高く、特に「独身男性40代」で39.4%、「独身女性40代」で31.6%。反対に「独身女性50代」では「一人暮らし」が43.6%、「独身男性50代」で53.3%と半数を超える。

独身40-50代男女  
(n=2,704)

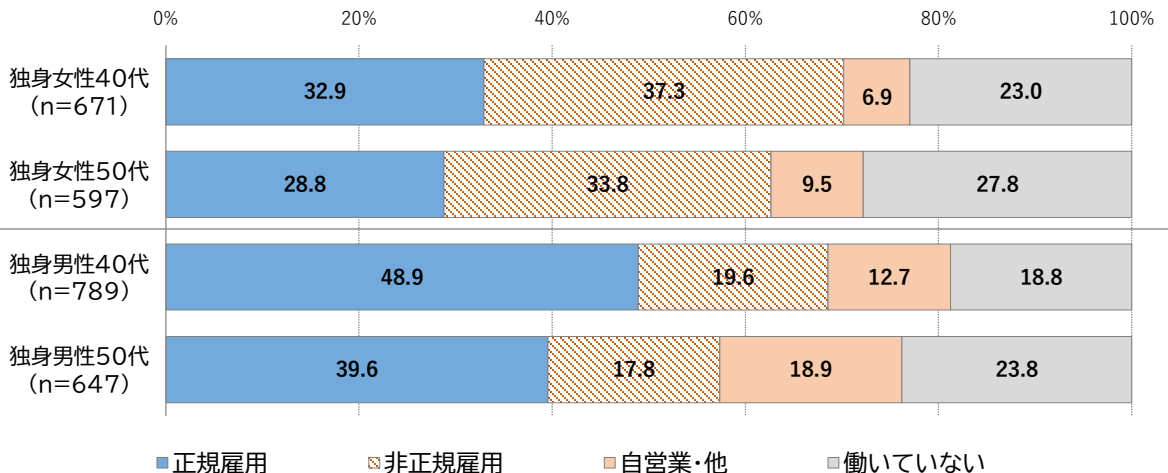


■一人暮らし



### (2) 現在の就業状況

・現在の就業状況について、「非正規雇用」は「独身女性40代」で37.3%と最も高く、「正規雇用」は「独身男性40代」で48.9%となる。  
 ・一方で、男性では「働いてない」の割合が同年代の既婚者と比べ高く(無職率(P45参照):「既婚男性40代」2.6%、「既婚男性50代」4.0%)、「独身男性40代」で18.8%、「独身男性50代」で23.8%。反対に女性では「働いてない」の割合が既婚女性に比べて低く、「正規雇用」の割合が高い。「正規雇用」の割合は、「既婚女性40代」17.3%、「既婚女性50代」11.8%(P45参照)に対して、「独身女性40代」で32.9%、「独身女性50代」で28.8%。



■正規雇用

■非正規雇用

■自営業・他

■働いてない

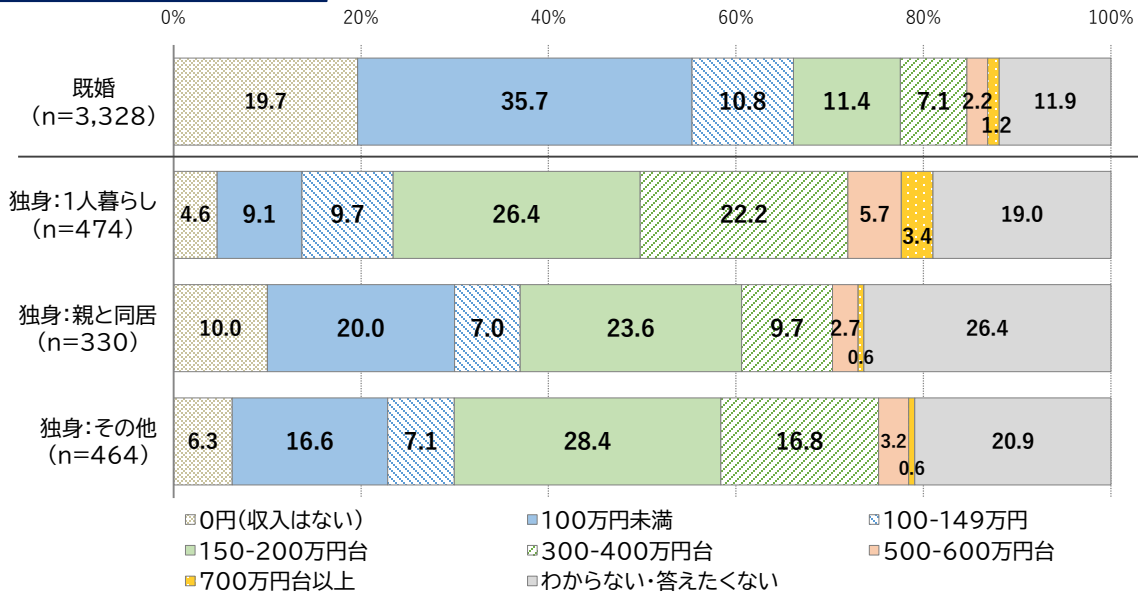
### (3) 個人年収(既婚者と独身者(居住形態別)の比較)

※40代・50代男女に絞って、個人年収を見た。

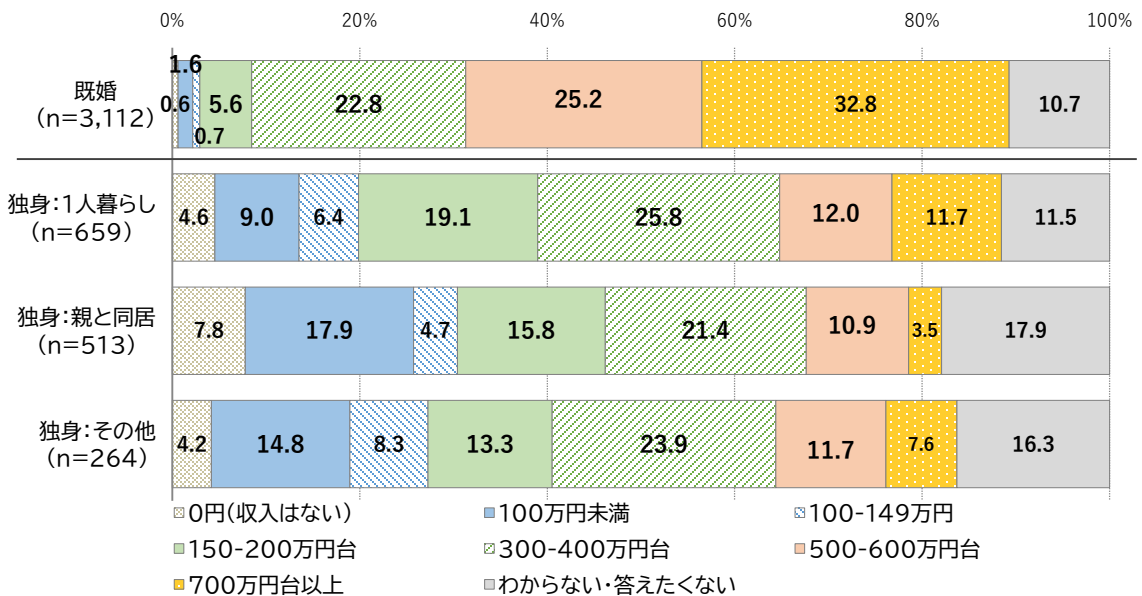
・女性では、「既婚」では主婦(働いていない)割合も高いことから、「100万円未満」の割合が「独身」と比べ高く、反対に「独身」では「150-200万円台」「300-400万円台」の割合が高い。

・男性では、女性と反対に「既婚」で「100万円未満」の割合が低く、1.6%。一方、「独身:親と同居」では「100万円未満」が17.9%と最も高く、「独身:その他」で14.8%。また、「700万円台以上」の割合が「独身」で低い。

#### ①40-59歳 女性



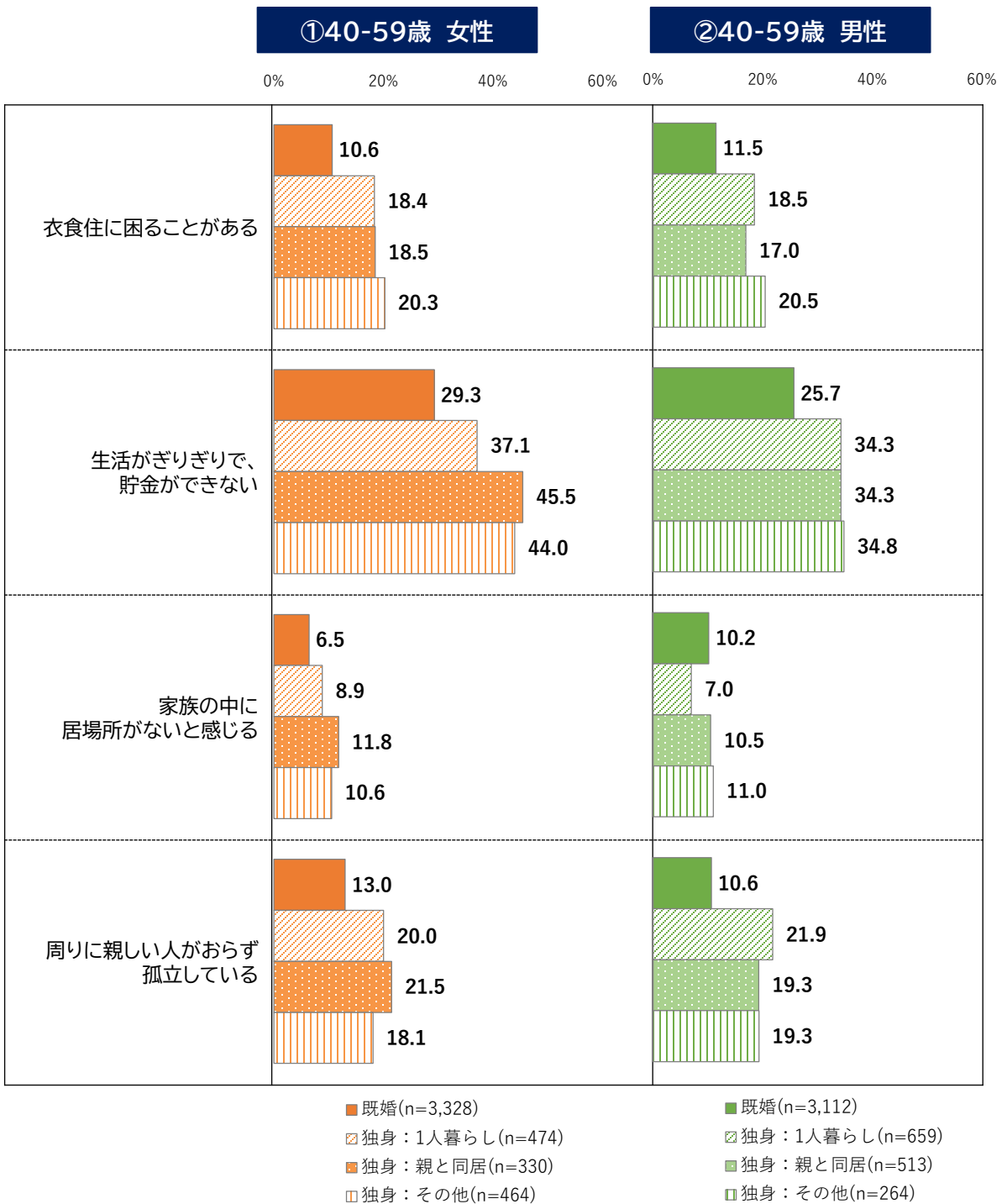
#### ②40-59歳 男性



## (4) 現在の不安

・現在の不安について、「40-59歳女性」では、「独身」で「衣食住に困る」「生活がぎりぎりで、貯金ができない」「周りに親しい人がおらず孤立している」の値が高く、「既婚」と比べ、差が見られる。また、「家族の中に居場所がないと感じる」も同様の傾向であり、「独身：1人暮らし」と比べ「独身：親と同居」の方が高い値。

・「40-59歳男性」も女性と同様の傾向であり、「既婚」と比べ「独身」で値が高い。また、「家族の中に居場所がないと感じる」は「既婚」「独身：親と同居」「独身：その他」で値が高く、「独身：1人暮らし」で低い。



※「当てはまる」 + 「やや当てはまる」の累計値を掲載

## (5) 将来の不安(未既婚別)

・「40-59歳女性」では、「独身」で将来への不安の値が高く、「既婚」との差が見られる。「既婚者」内で比較すると、「夫婦ともに正規雇用」で将来への不安が最も低い。

・男性も同様の傾向が見られ、「既婚」に比べ「独身」で将来への不安が高い。また、「十分な介護が受けられなくなる」「年金受給が不透明・見通しが立たない」は「夫婦ともに正規雇用」において不安が低い。

### ①40-59歳 女性

		自分の周りに頼る人・面倒を見てくれる人がいなくなる	高齢になって十分な生活ができなくなる	高齢になって十分な介護が受けられなくなる	高齢になっても年金受給が不透明・見通しが立たない	高齢になって孤立してしまう
既婚	夫婦ともに正規雇用 (n=413)	20.8%	23.7%	23.2%	27.6%	19.4%
	夫:正規/妻:非正規 (n=874)	21.3%	33.2%	30.9%	38.0%	28.7%
	夫:正規/妻:無職 (n=1,098)	24.9%	35.2%	33.0%	39.8%	30.9%
	配偶者有りその他 (n=943)	25.0%	31.1%	29.0%	36.7%	26.4%
独身	1人暮らし (n=474)	36.3%	43.2%	38.8%	44.9%	39.7%
	親と同居 (n=330)	46.4%	52.1%	48.5%	54.2%	50.6%
	その他 (n=464)	32.8%	45.9%	41.2%	48.1%	37.3%

### ②40-59歳 男性

		自分の周りに頼る人・面倒を見てくれる人がいなくなる	高齢になって十分な生活ができなくなる	高齢になって十分な介護が受けられなくなる	高齢になっても年金受給が不透明・見通しが立たない	高齢になって孤立してしまう
既婚	夫婦ともに正規雇用 (n=955)	13.9%	19.3%	17.2%	21.2%	16.9%
	夫:正規/妻:非正規 (n=956)	13.9%	24.2%	22.4%	27.9%	19.5%
	夫:正規/妻:無職 (n=687)	13.2%	21.8%	21.5%	26.9%	19.2%
	配偶者有りその他 (n=514)	15.8%	25.3%	24.3%	32.1%	19.8%
独身	1人暮らし (n=659)	27.2%	32.3%	31.3%	35.1%	32.5%
	親と同居 (n=513)	30.6%	37.4%	34.3%	39.2%	40.0%
	その他 (n=264)	27.3%	34.5%	31.1%	36.4%	33.0%

## 2. シングルマザーを取り巻く状況

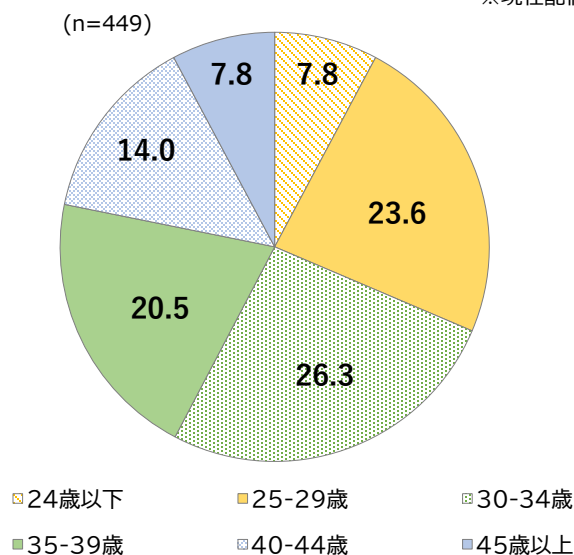
### (1) シングルマザーになった年齢

・シングルマザーになった年齢について、最も高かったのは「30-34歳」で26.3%、次いで「25-29歳」で23.6%、「35-39歳」で20.5%の順であり、「30代でシングルマザーとなった人」が全体の46.8%と半数近くを占める。

・実際の年齢を、シングルマザー以外の女性と比較したところ、「最初に結婚した年齢」は24.5歳と、シングルマザー以外の女性(26.8歳)と比べ2歳早かった。また、「第一子を持った年齢」も同様に、シングルマザー25.9歳に対し、シングルマザー以外の女性は28.1歳と2歳程度の差。

※集計対象者…離婚・死別経験があり子供がいる女性で、「離婚時の年齢」「第一子を持った年齢」のどちらも回答している人、かつ、最初に離婚した時に第一子がいる（離婚時の年齢が第一子を持った年齢を上回る）人、かつ、離婚時に子供が19歳以下の人を対象とした

※現在配偶者がいない人を対象とした



	現在の年代				
	20代	30代	40代	50代	60代
20代でなった人 (n=141)	7.1%	14.9%	31.9%	24.1%	22.0%
30代でなった人 (n=210)	-	13.3%	23.3%	31.4%	31.9%
40代でなった人 (n=98)	-	-	23.5%	36.7%	39.8%

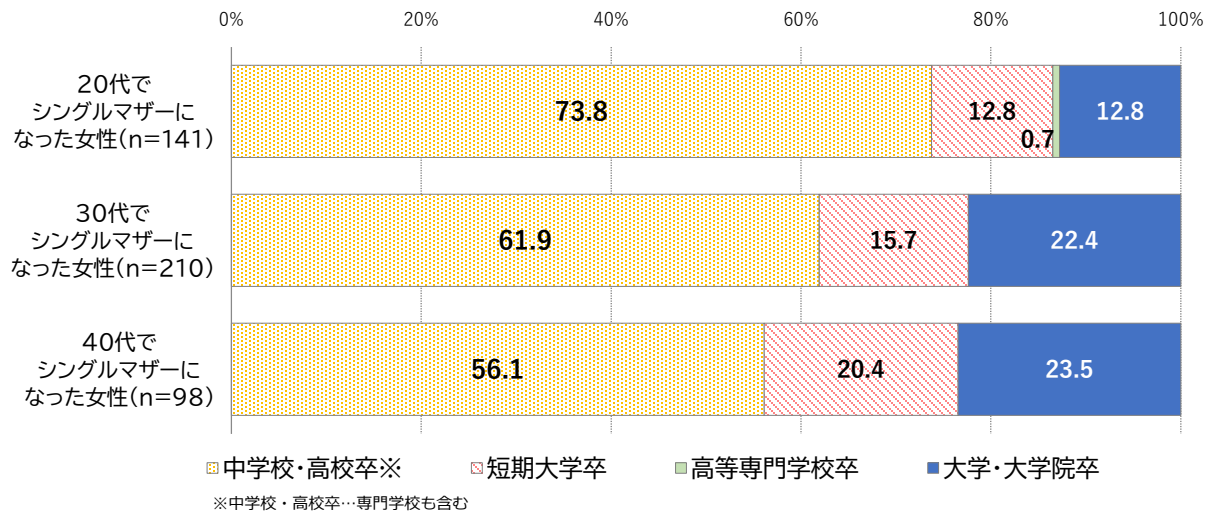
※全て全回答値の平均年齢

現実の年齢	シングルマザー (n=449)	シングルマザー 以外の女性
最初に結婚した年齢	24.5歳	26.8歳 (n=6,757)
第一子を持った年齢	25.9歳	28.1歳 (n=5,127)
シングルマザーになった時 (最初に離婚した時)の年齢	33.4歳	34.1歳 (n=821)

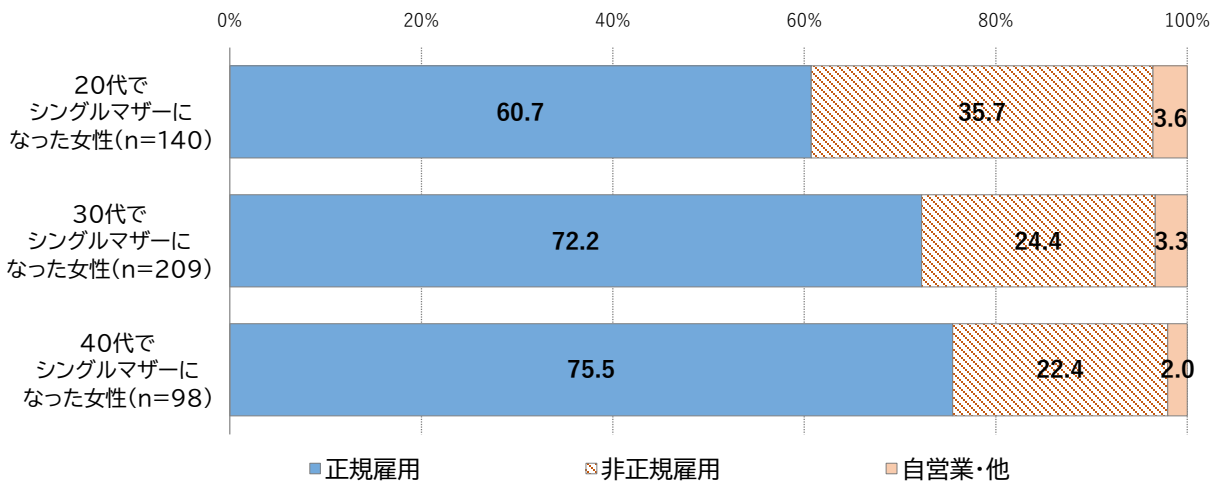
## (2) 最終学歴と初職の状況

- ・シングルマザーになった年齢別に、最終学歴を見たところ、「20代でなった人」は73.8%が「中学校・高校卒」なのに対し、「40代でなった人」は「中学校・高校卒」が56.1%、「大学・大学院卒」が23.5%と、シングルマザーになった年齢が遅いほど、「中学校・高校卒」の割合が低くなる。
- ・最終学歴後の初職については、「20代でなった人」は「非正規雇用」の割合が最も高く35.7%。一方で「40代でなった人」は、「正規雇用」の割合が75.5%を占める。

### 【最終学歴】



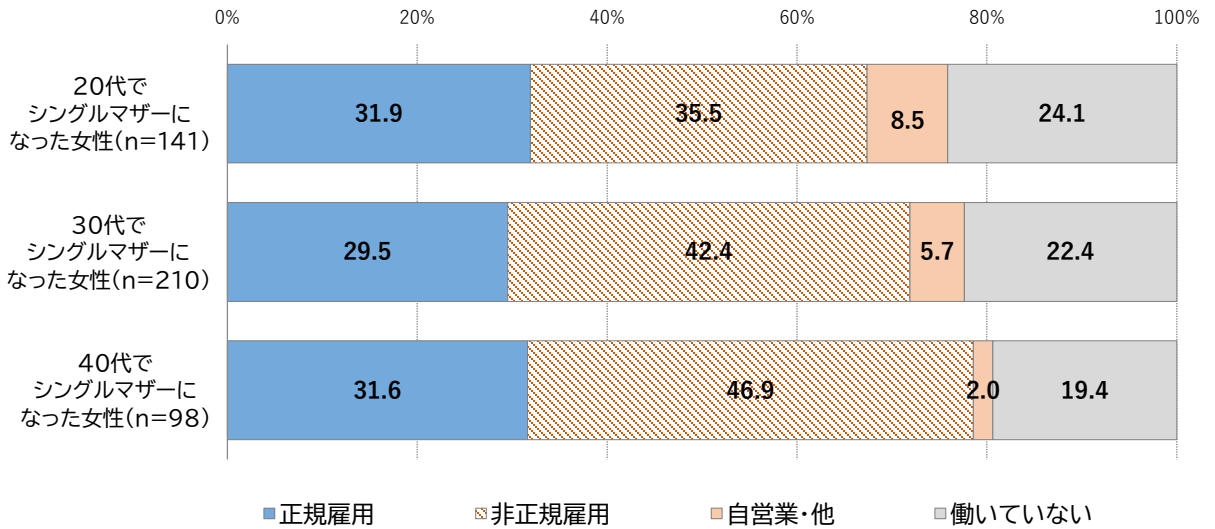
### 【初職の就業状況】 ※初職で働いていない2名を除く



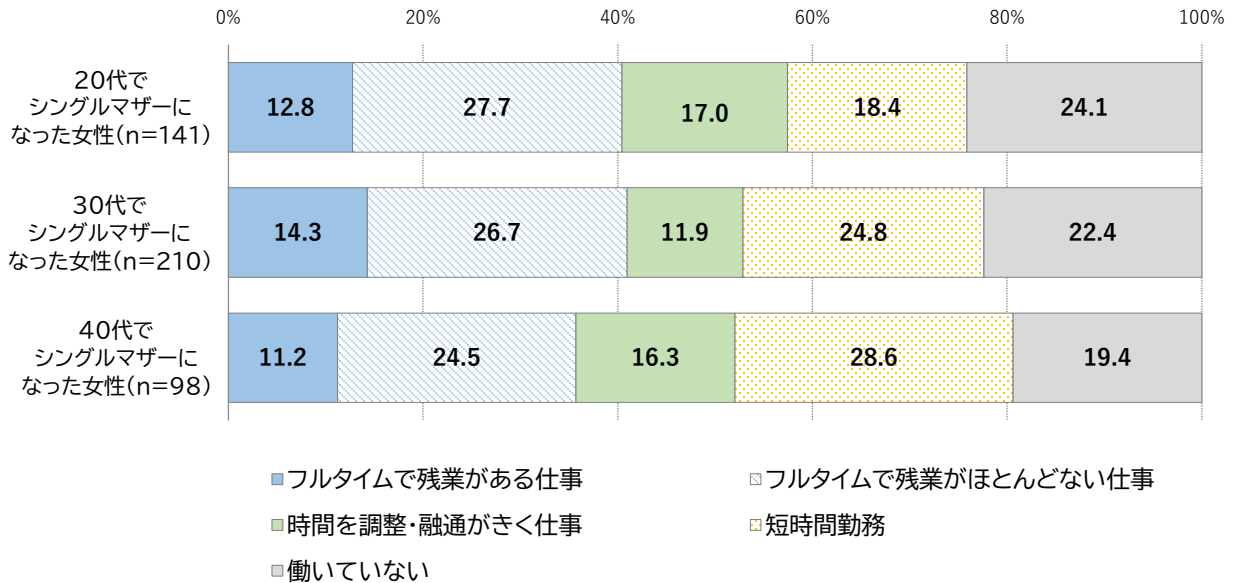
### (3) 現在の職業状況

・現在の就業状況について、「正規雇用」の割合はどの層も3割前後と、シングルマザーになった年齢によって大きな差は見られないが、「40代でなった人」は現在「非正規雇用」である割合が最も高く46.9%。  
 ・現職の勤務形態も、非正規雇用率に関連して「40代でなった人」で「短時間勤務」の割合が高く、28.6%。

#### 【現在の就業状況】



#### 【勤務形態】





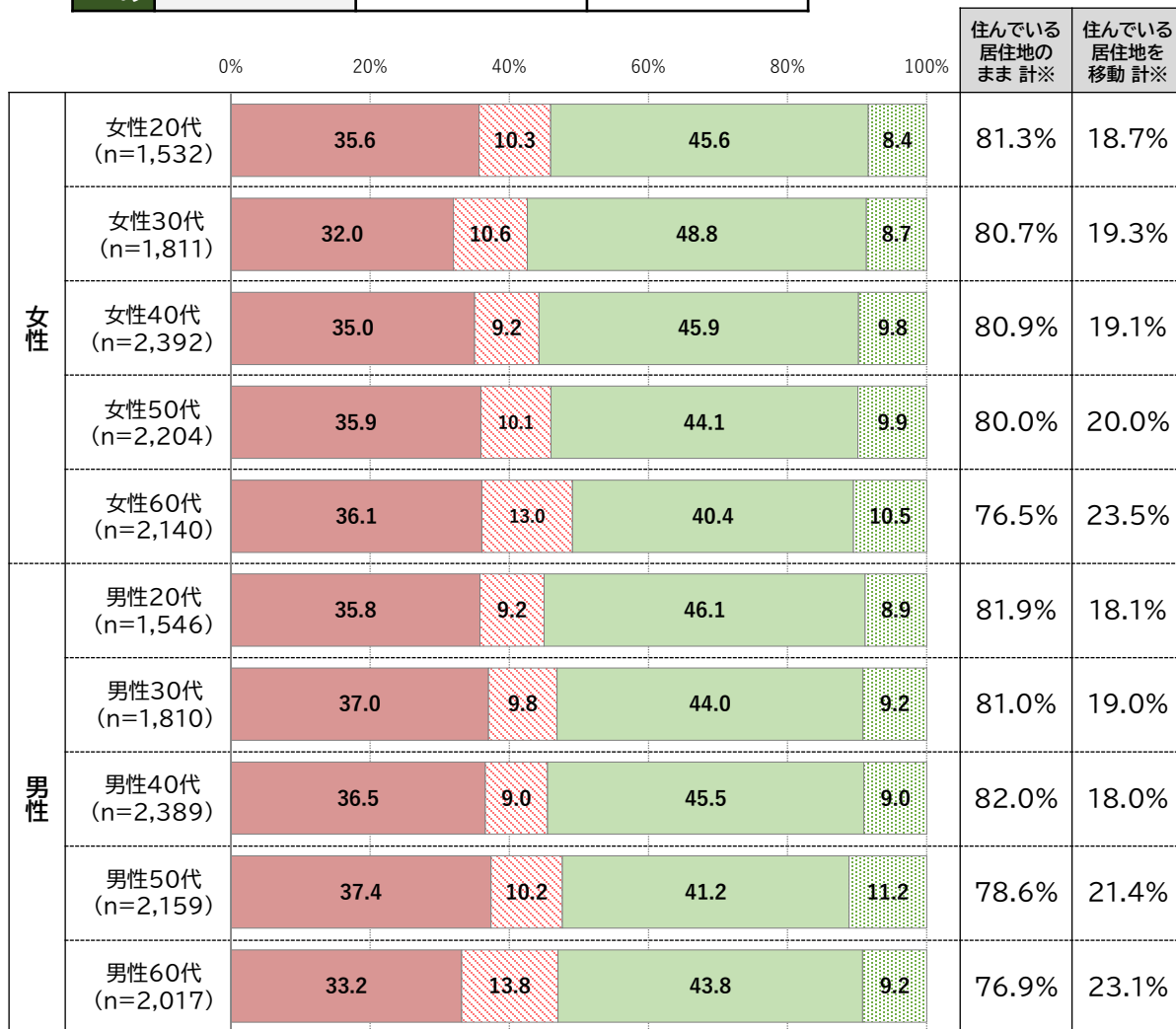
### 3. 都市部への流入による影響について

#### (1) 中学校卒業時の居住地と現在の居住地の関係

- ・地域を大都市圏（東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、愛知県、大阪府、福岡県）と、その他都市に分け、中学校卒業時の居住地と現在の居住地との関係を見た。
- ・全体では「その他都市-その他都市」が最も高く、次いで「大都市圏-大都市圏」の順。「その他都市-大都市圏」は「男性60代」で13.8%、「女性60代」で13.0%と高い。男女ともに20-50代は傾向に大きな差は見られない。

		現在の居住地	
		大都市圏	その他都市
中学校卒業時の居住地	大都市圏	1.大都市圏-大都市圏層 (n=7,099)	4.大都市圏-その他都市層 (n=1,910)
	その他都市	2.その他都市-大都市圏層 (n=2,106)	3.その他都市-その他都市層 (n=8,885)

※住んでいる居住地のまま計…  
「大都市圏-大都市圏」「その他都市-その他都市」の累計値  
※住んでいる居住地を移動計…  
「その他都市-大都市圏」「大都市圏-その他都市」の累計値



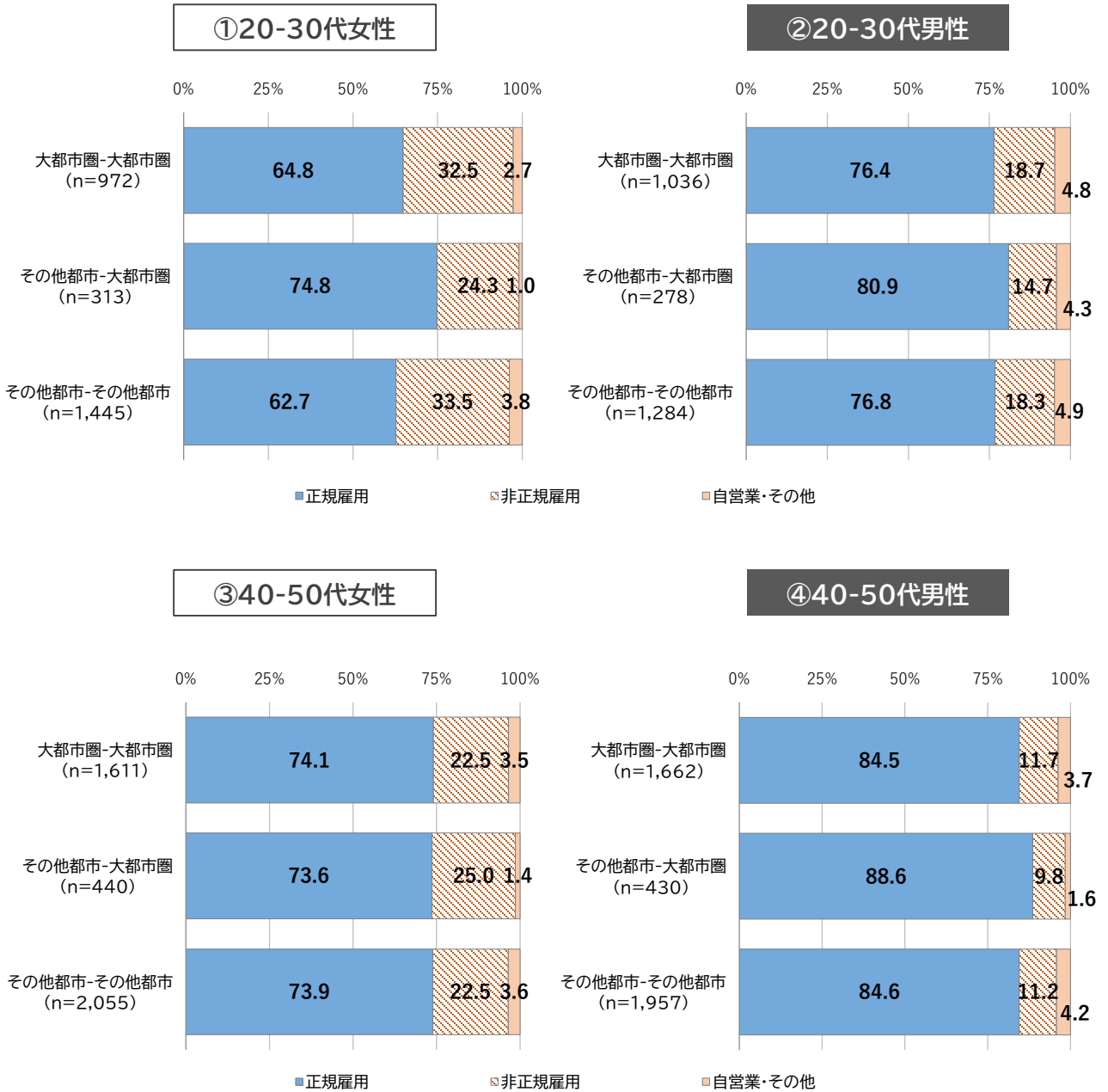
■ 大都市圏-大都市圏      ▨ その他都市-大都市圏  
■ その他都市-その他都市      ▩ 大都市圏-その他都市

## (2) 居住地の変化と初職の雇用形態

※居住地の組み合わせにより、初職の雇用形態について見た。ただし、中学校卒業時の居住地と現在の居住地との組み合わせであり、どの時点で移動したのか(進学、結婚、転勤等に伴い)等の詳細は不明である点に注意が必要。

・「20-30代女性」では、「その他都市-大都市圏」で「正規雇用」が74.8%と最も高く、同様に「20-30代男性」「40-50代男性」も「その他都市-大都市圏」で「正規雇用」割合が最も高い。

※「大都市圏-その他都市」については、本パートは都市部への流入を中心に見ていく為、割愛

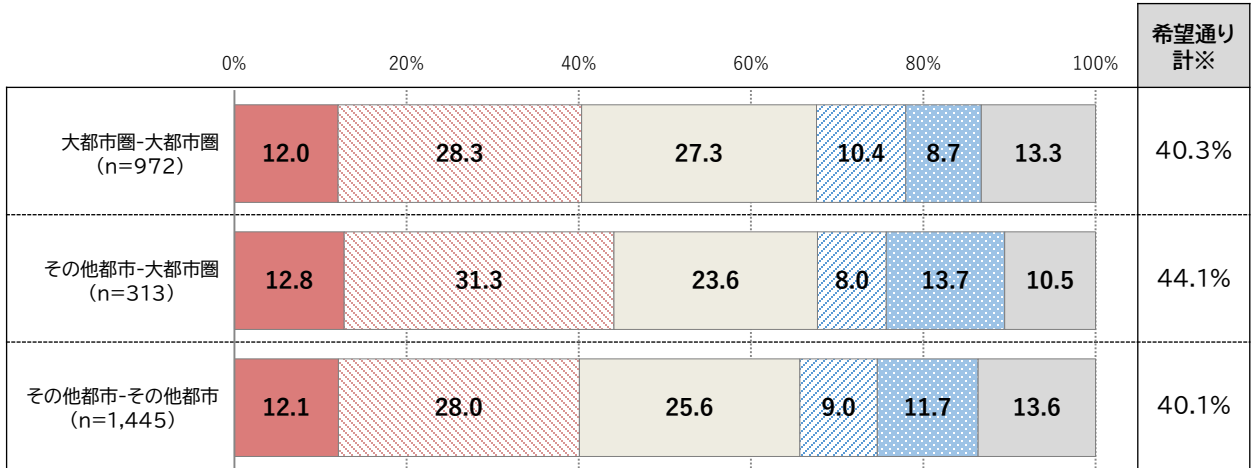


### (3) 居住地の変化と初職への希望度

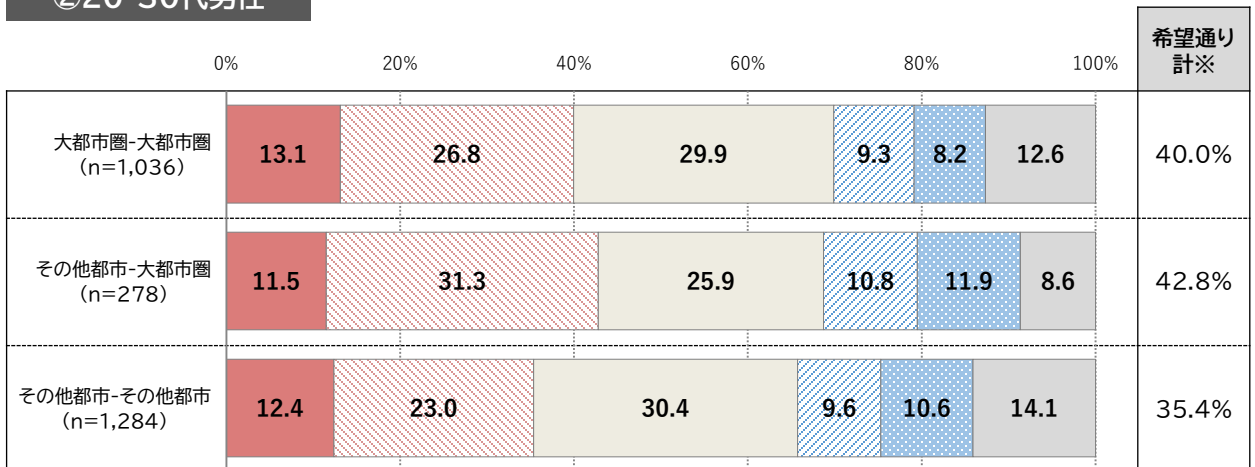
・初職について就職前の希望度を見たところ、「20-30代女性」では、「希望通り+やや希望通り」の累計値は、「その他都市-大都市圏」で最も高く44.1%、「大都市圏-大都市圏」「その他都市-その他都市」は4割。  
 ・「20-30代男性」も同様に、「その他都市-大都市圏」で最も高く42.8%、一方で「その他都市-その他都市」で最も低く35.4%。

#### ①20-30代女性

※「希望通り」+「やや希望通り」の累計値



#### ②20-30代男性



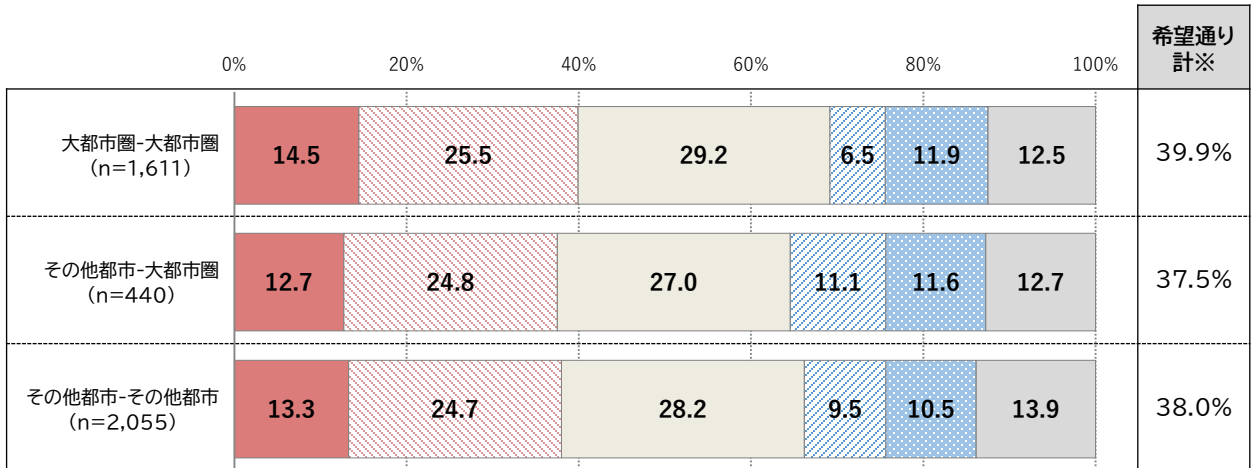
- 希望通り
- ▨ やや希望通り
- どちらとも言えない
- ▨ やや希望通りでない
- 希望通りでない
- 覚えていない

### (3) 居住地の変化と初職への希望度

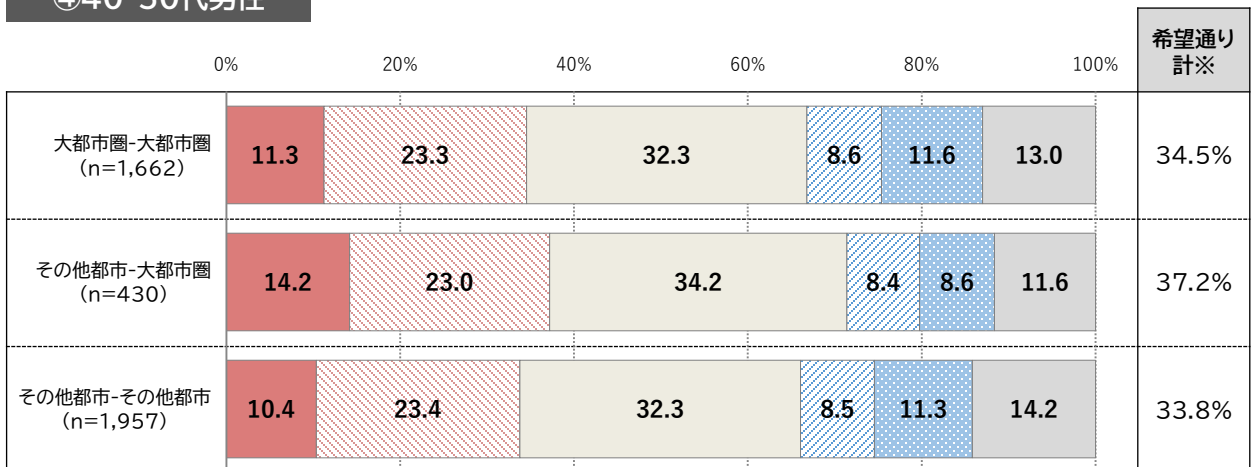
- ・「40-50代男性」も20-30代男女と同様に、「その他都市-大都市圏」で「希望通り計」の値が高く37.2%、「大都市圏-大都市圏」で34.5%、「その他都市-その他都市」で33.8%。
- ・一方で、「40-50代女性」では、大きな差は見られず、「希望通り計」は38-40%の間。

#### ③40-50代女性

※「希望通り」+「やや希望通り」の累計値



#### ④40-50代男性



- 希望通り
- ▨ やや希望通り
- どちらとも言えない
- ▨ やや希望通りでない
- 希望通りでない
- 覚えていない

## 4. 離婚リスクについて

### (1) 夫婦の就業状況・年代別

※夫婦の就業状況及び年代別に離婚リスクを見た。「離婚可能性あり(定義は注釈参照)」の値を掲載。

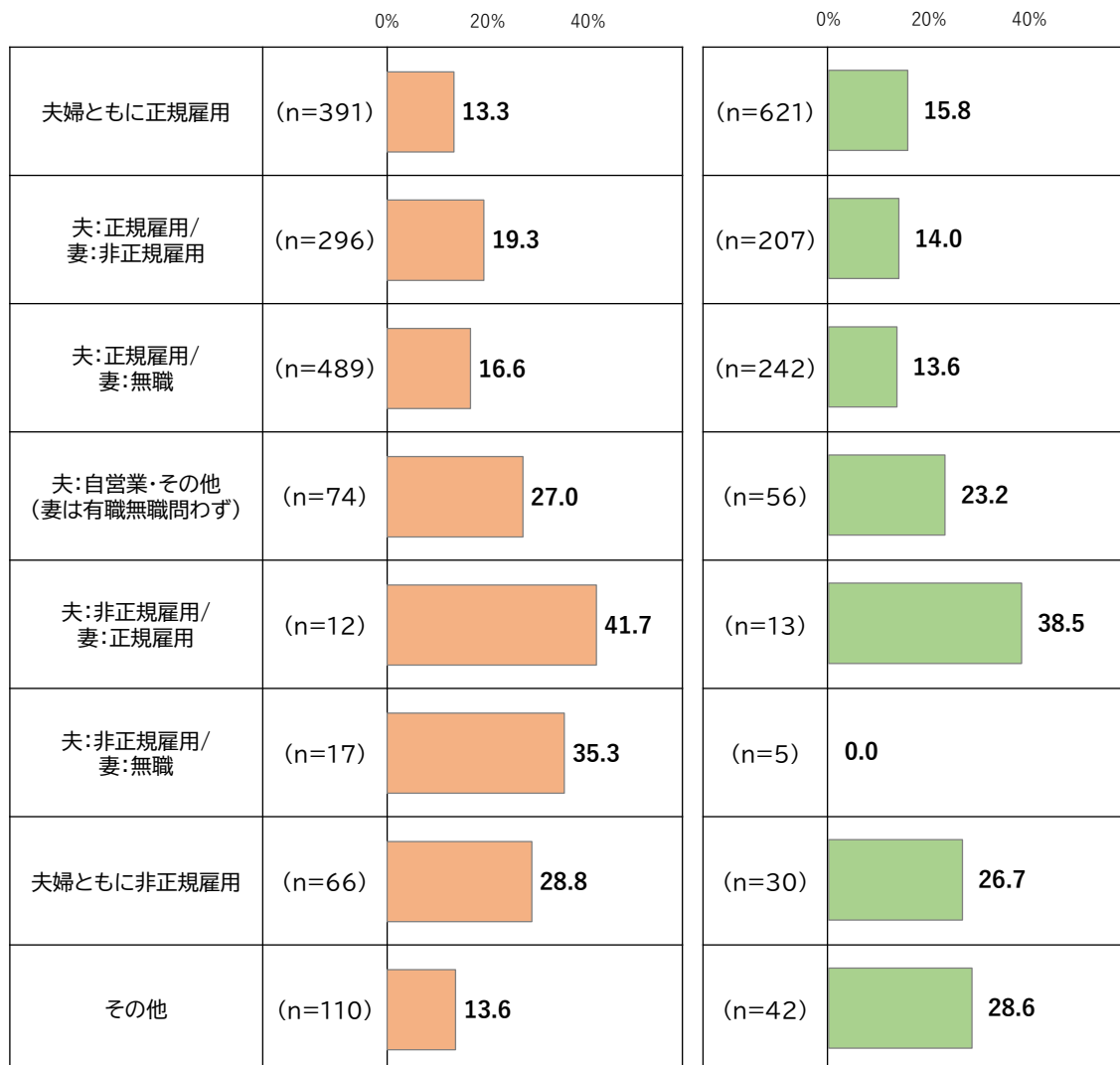
・「20-39歳女性」では、「夫婦ともに正規雇用」の場合で離婚リスクは最も低く13.3%、反対に「夫:非正規雇用/妻:正規雇用」「夫:非正規雇用/妻:無職」「夫婦ともに非正規雇用」「夫:自営業・その他」で離婚可能性が高い。

・「20-39歳男性」では、「夫:正規雇用」の場合で離婚可能性は最も低く、「夫:非正規雇用/妻:正規雇用」「夫婦ともに非正規雇用」「夫:自営業・その他」の場合で離婚可能性が高い。

※離婚可能性7段階について、「あるかもしれない」+「かなりありそう」+「現在、離婚準備中」の累計値を掲載

#### ①既婚20-39歳 女性

#### ②既婚20-39歳 男性



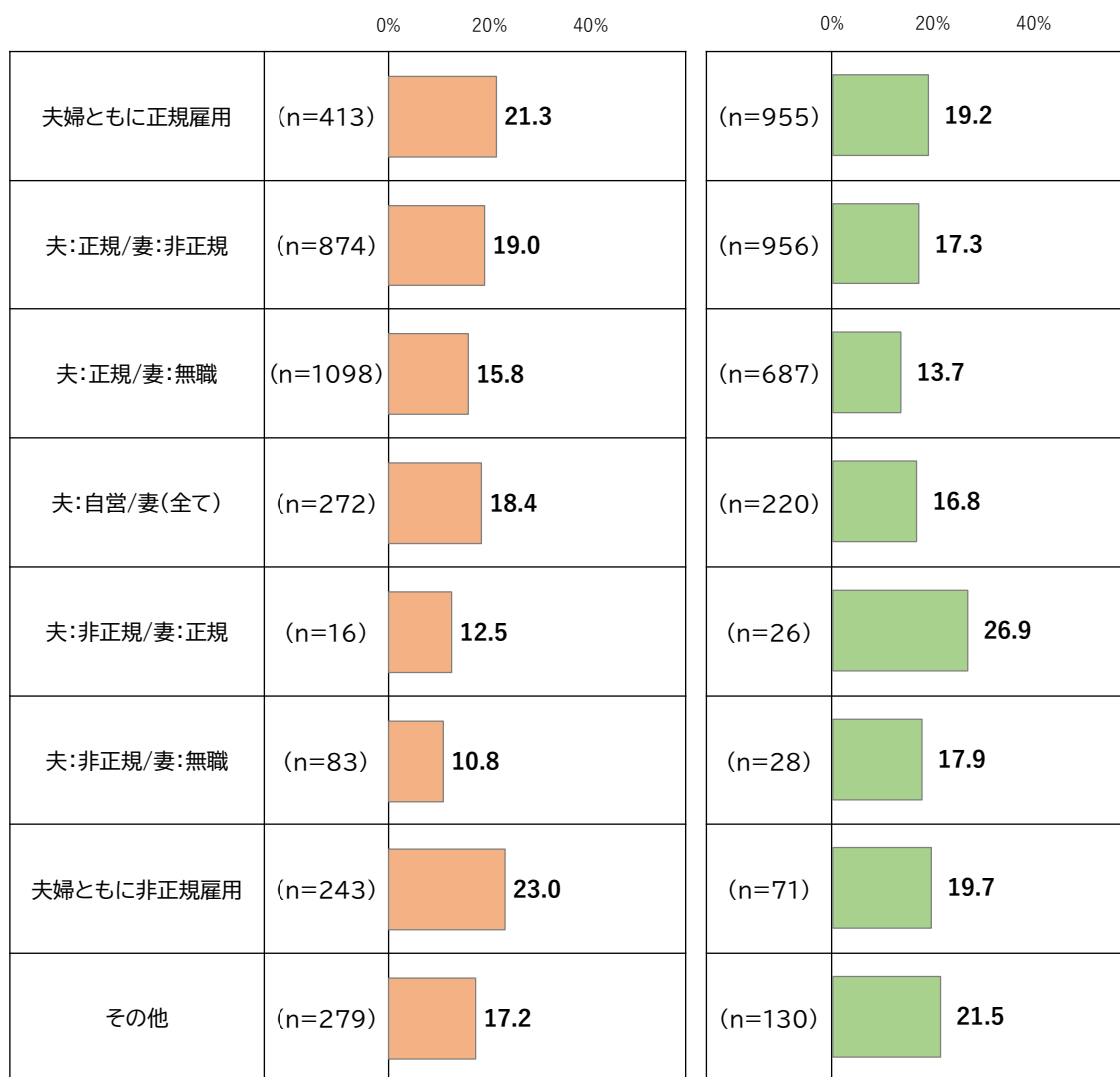
## (1) 夫婦の就業状況・年代別

・「40-59歳女性」については、「夫婦ともに非正規雇用」の場合に離婚可能性が最も高く、23.0%。「40-59歳男性」では、「夫:非正規雇用/妻:正規」の場合において、離婚可能性が最も高く、26.9%。

※離婚可能性7段階について、  
「あるかもしれない」+「かなりありそう」+「現在、離婚準備中」  
の累計値を掲載

### ③既婚40-59歳 女性

### ④既婚40-59歳 男性



## (2) 個人年収別

※個人年収別に離婚可能性を見た。

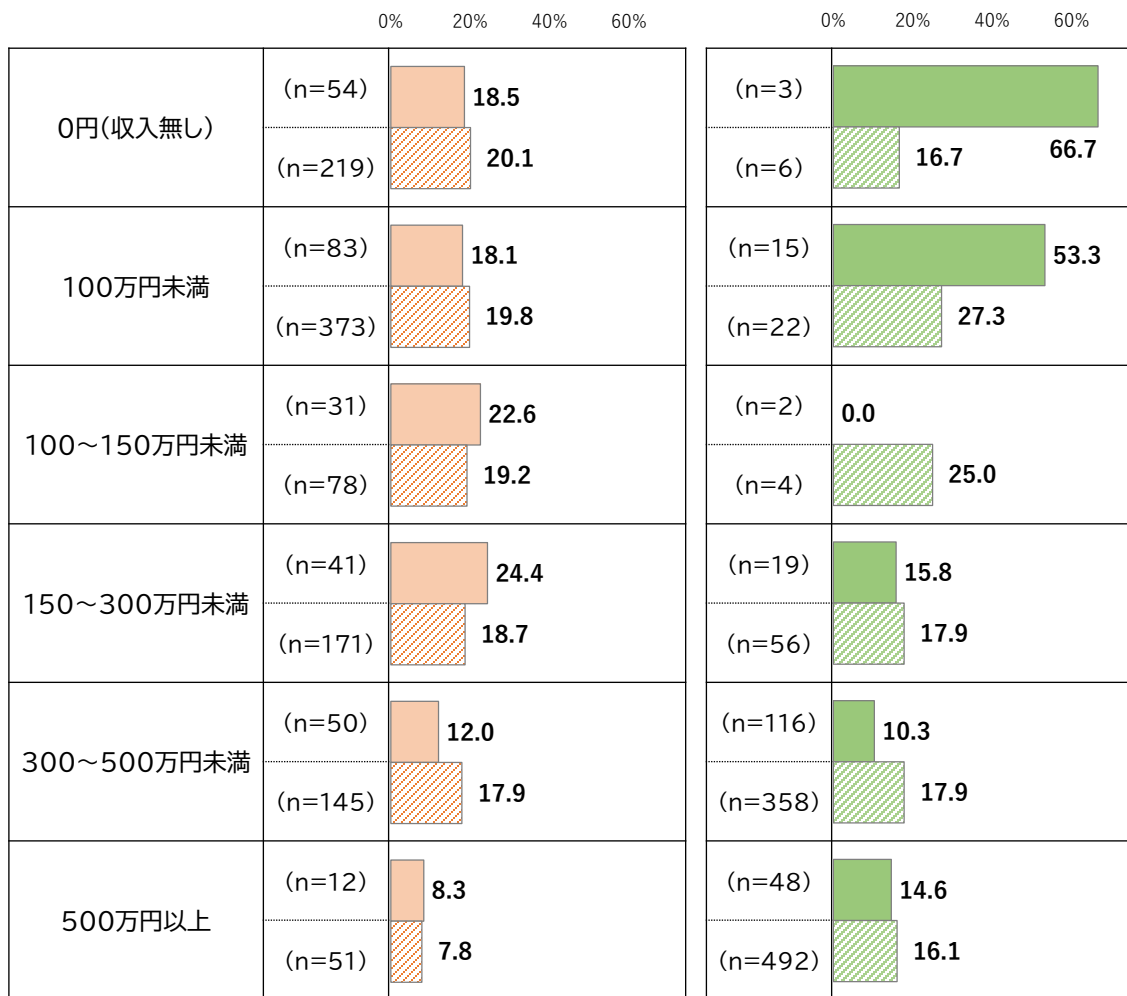
・「女性20代」では、「300～500万円未満」(12.0%)、「500万円以上」(8.3%)で、それ以下の個人年収の場合と比べ、離婚可能性が低くなっている。「女性30代」では、「500万円以上」で離婚可能性は7.8%と最も低い。

・「男性20代」では、対象者数は少ないが、「0円(収入無し)」「100万円未満」で150万円以上と比べ離婚可能性が高くなっている。「男性30代」では、「100万円未満」で離婚可能性は最も高いが、個人年収によって大きな差は見られない。

※離婚可能性7段階について、  
「あるかもしれない」+「かなりありそう」+「現在、離婚準備中」  
の累計値を掲載

①既婚 女性20代・30代

②既婚 男性20代・30代



■ 女性20代  
■ 女性30代

■ 男性20代  
■ 男性30代

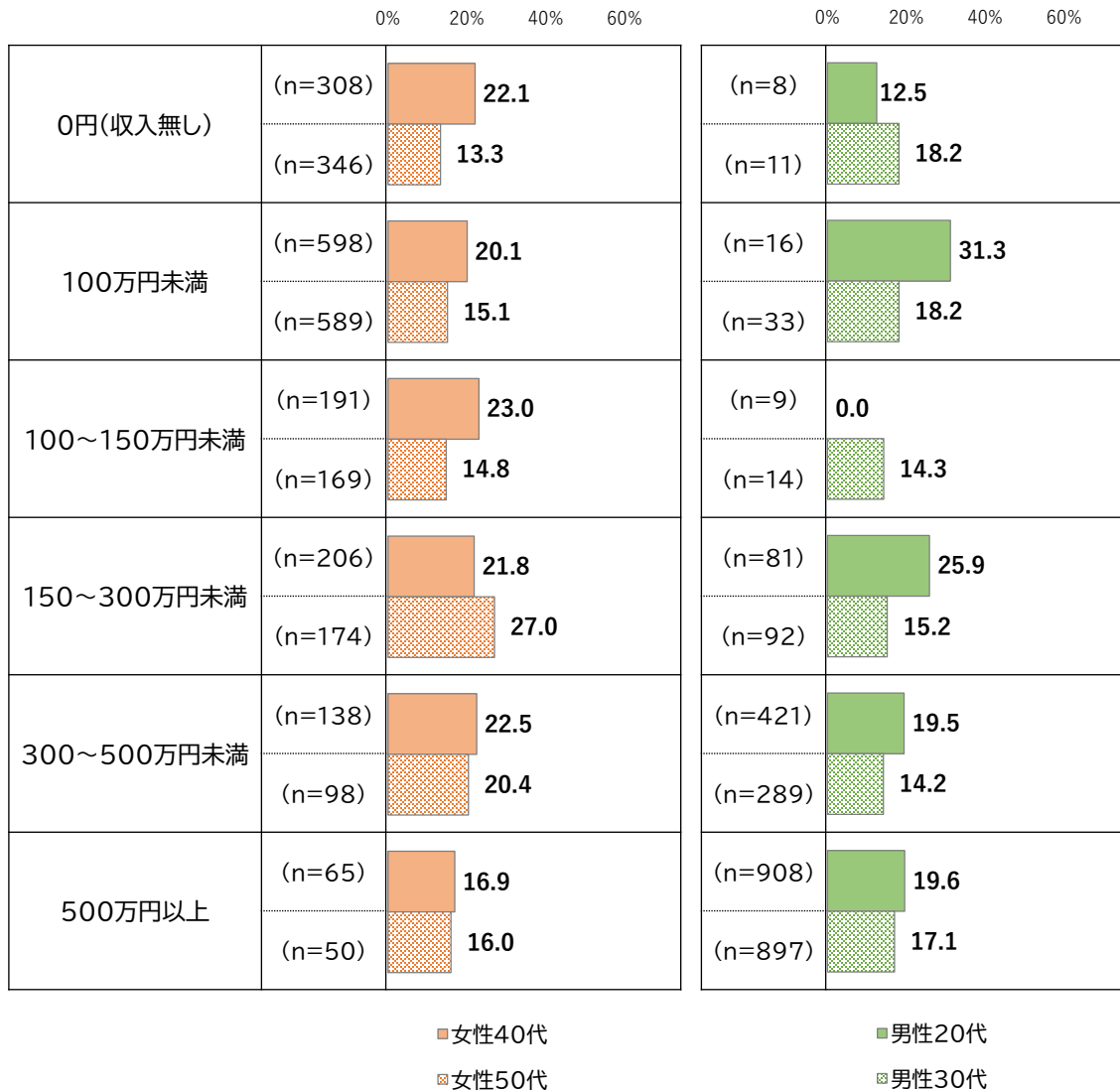
## (2) 個人年収別

- ・「女性40代」は個人年収によって離婚可能性に大きな差は見られないものの、「500万円以上」で16.9%と最も低い。「女性50代」では、「150～300万円未満」で27.0%と、それ以下と比べ高い。
- ・「男性40代」では「100万円未満」で離婚可能性が最も高いものの、年収により大きな差は見られない。「男性50代」でも大きな差は見られない。

※離婚可能性7段階について、「あるかもしれない」+「かなりありそう」+「現在、離婚準備中」の累計値を掲載

### ③既婚 女性40代・50代

### ④既婚 男性40代・50代





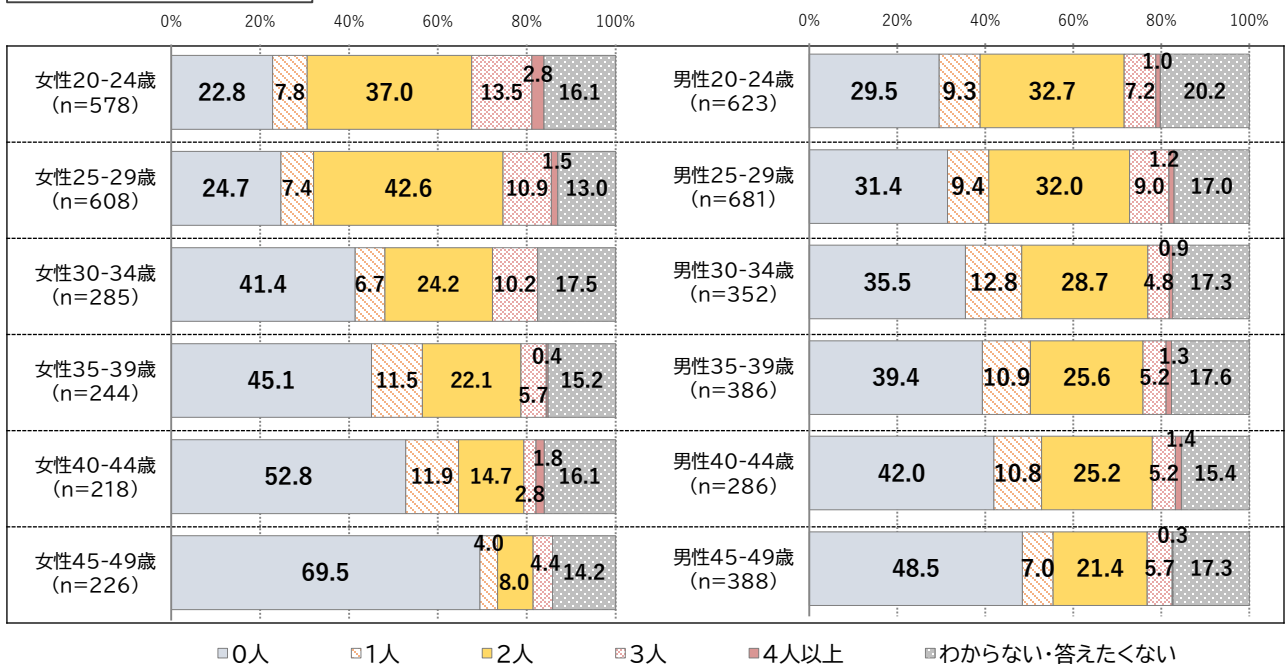
## 5. 婚姻状況と理想の子供の数について

### (1) 婚姻状況別の理想の子供の数

- ・理想の子供の数について、「独身(未婚)女性」では、「20-24歳」「25-29歳」で「2人」の値が他年代と比べ高く、4割前後。また年代が上がるほど、「0人」の割合も高くなる。「独身(未婚)男性」でも同様に「0人」は年代が上がるほど割合が高まり、「20-24歳」で最も「2人」の割合が高いものの、年代による差は女性と比べ小さい。
- ・「独身(離死別)」では、「女性30-34歳」で「2人」の割合が52.8%と高く、男性では「2人」の割合は、「男性35-39歳」で37.5%と最も高いものの、「30-34歳」「40代」も3割前後。
- ・独身者を「未婚」と「離死別」で比較すると、特に女性で、どの年代でも「未婚」の方が、「0人」とする割合が高い。

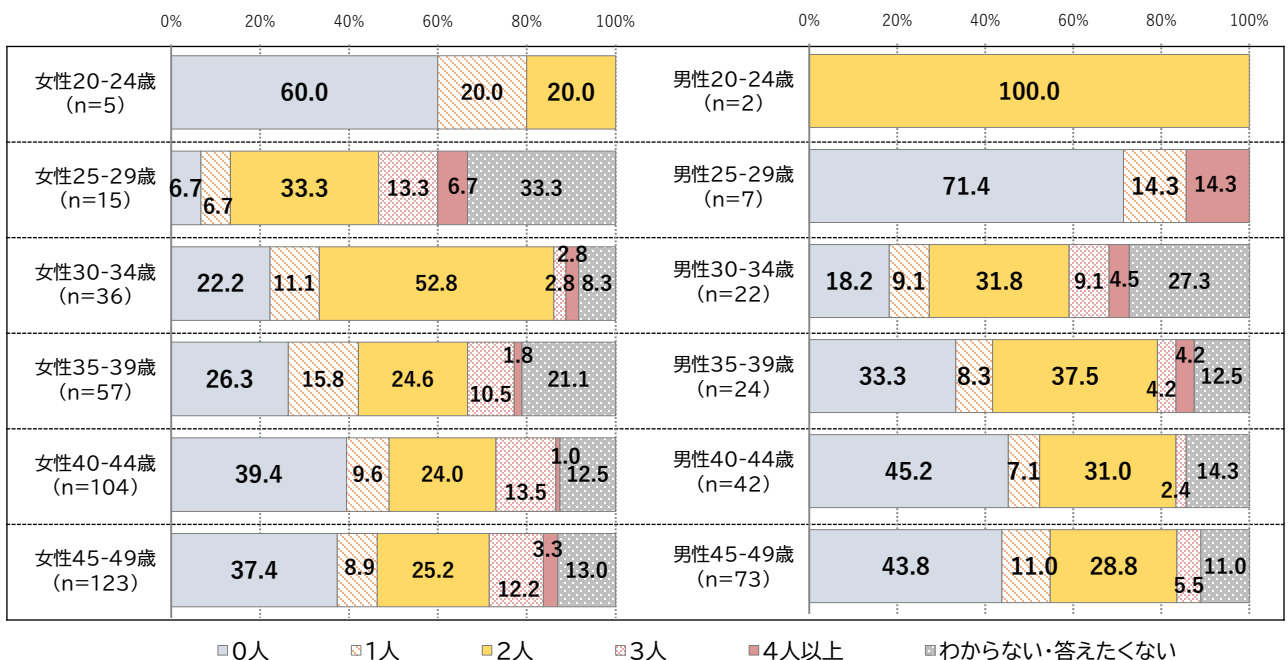
※対象者が20人を超えるものを中心にコメントを記載

#### ①独身(未婚)



□0人 □1人 ■2人 □3人 ■4人以上 □わからない・答えたくない

#### ②独身(離死別)

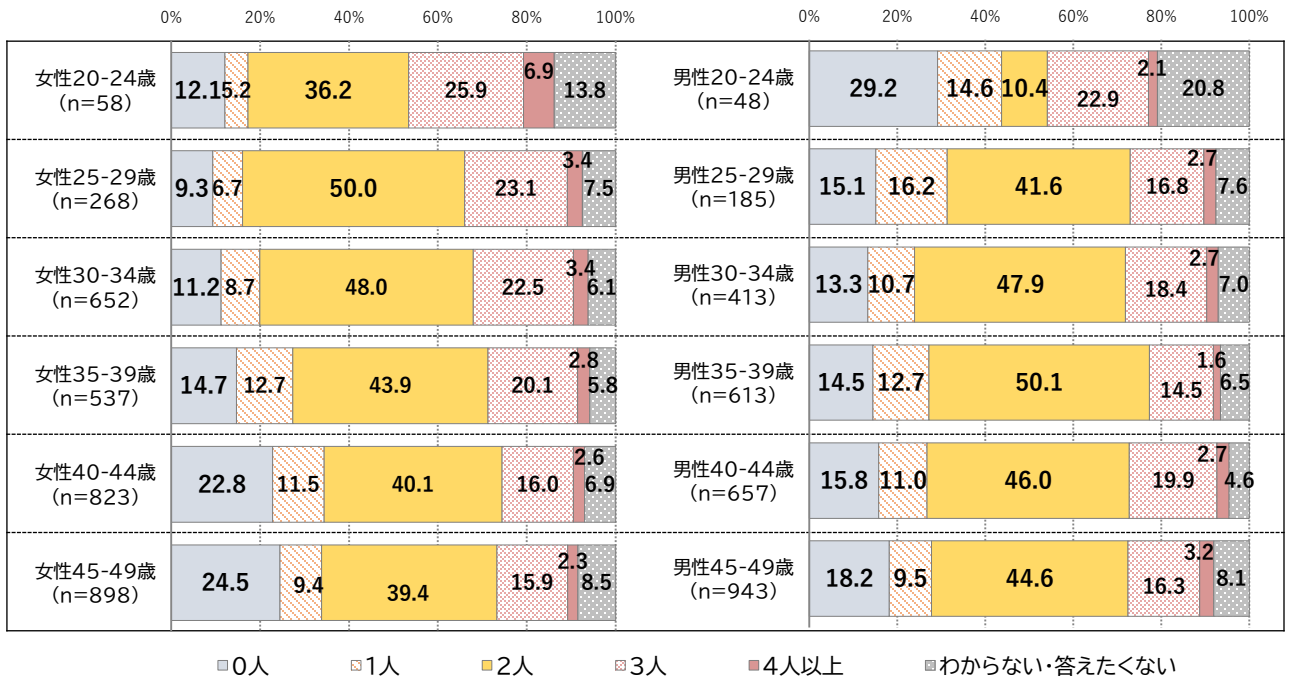


□0人 □1人 ■2人 □3人 ■4人以上 □わからない・答えたくない

# (1) 婚姻状況・男女別・年代別の理想の子供の数

- ・「既婚」では、女性は全ての年代で「2人」の割合が最も高く、特に「女性25-29歳」で50.0%、「女性30-34歳」で48.0%と高い。また、「3人」の割合も15~25%程度と、「独身」と比べ高い値。
- ・「男性20-24歳」では、「0人」の値が他年代と比べ高く29.2%。それ以上の年代では、「2人」の割合が最も高く、4~5割。

## ③既婚



## 6. 結婚後のライフスタイルの理想と現実の年代別傾向

### (1) 結婚後(子供がいない時)の働き方(理想)

・結婚後の「理想」の働き方について、「既婚者」では、「女性20代・30代」で「夫婦ともにフルタイム」が5割弱、「男性20代・30代、40-44歳」で5割強と他年代と比べ高い値。「夫:フルタイム/妻:家事に専念」は「女性」では「40歳以上」で、「男性」では「50代」以上で10%以上となった。

・「独身・結婚意思あり・女性」では、「20代」で「夫婦ともにフルタイム」が最も高く40.6%、「独身・結婚意思あり・男性」では、「20代」「30代」が「夫婦ともにフルタイム」3割前後と、男女ともに年代が若い層で高い値。反対に「夫:フルタイム/妻:パート・アルバイト等」は、「女性60代」を除き概ね2割程度。

#### 既婚

理想		(%)				
		夫婦ともにフルタイム	夫:フルタイム/ 妻:パート・アルバイト等	夫:フルタイム/ 妻:家事に専念 (働かない)	その他	覚えていない・特に希望はなかった
女性	20代 (n=326)	46.6	22.7	5.2	5.5	19.9
	30代 (n=1,189)	46.9	25.0	9.4	4.7	14.0
	40-44歳 (n=823)	40.8	24.1	14.7	4.9	15.6
	45-49歳 (n=898)	37.4	22.4	16.4	6.3	17.5
	50代 (n=1,607)	39.5	23.1	19.5	5.0	12.9
	60代 (n=1,599)	39.0	17.8	23.6	4.3	15.3
男性	20代 (n=233)	53.6	14.2	4.3	4.3	23.6
	30代 (n=1,026)	52.2	19.8	5.4	2.2	20.4
	40-44歳 (n=657)	50.8	24.0	6.8	2.3	16.0
	45-49歳 (n=943)	43.5	26.6	8.9	2.5	18.5
	50代 (n=1,512)	38.9	25.0	15.1	2.1	18.9
	60代 (n=1,544)	36.2	23.5	25.1	1.4	13.9

#### 独身・結婚意思あり

理想		(%)				
		夫婦ともにフルタイム	夫:フルタイム/ 妻:パート・アルバイト等	夫:フルタイム/ 妻:家事に専念 (働かない)	その他	特に希望はなかった
女性	20代 (n=997)	40.6	20.3	5.4	5.2	28.5
	30代 (n=456)	30.5	22.8	9.2	2.0	35.5
	40-44歳 (n=216)	33.8	23.6	12.5	2.8	27.3
	45-49歳 (n=212)	26.9	21.7	12.7	3.8	34.9
	50代 (n=245)	25.3	22.4	13.1	2.0	37.1
	60代 (n=120)	28.3	12.5	18.3	5.8	35.0
男性	20代 (n=1,021)	29.4	20.7	3.8	5.0	41.1
	30代 (n=571)	30.6	19.8	2.6	3.3	43.6
	40-44歳 (n=228)	25.9	18.4	5.3	3.5	46.9
	45-49歳 (n=315)	27.9	15.2	5.1	2.5	49.2
	50代 (n=400)	22.0	20.0	7.3	2.8	48.0
	60代 (n=281)	22.8	20.6	13.2	1.4	42.0

## (1) 結婚後(子供がいない時)の働き方(実際にどうだったか(現実))

- ・「既婚」では、実際にどうだったか(現実)について、「夫婦ともにフルタイム」は「女性20代・30代」で高く、4割前後。また「男性20代・30代・40-44歳」で「夫婦ともにフルタイム」が4割弱～4割以上。
- ・「夫:フルタイム/妻:家事に専念」は男女ともに年代が若いほど低く、年代が上の方が高い。

### 既婚

(%)

実際にどうだったか (現実)		夫婦ともに フルタイム	夫:フルタイム/ 妻:パート・ アルバイト等	夫:フルタイム/ 妻:家事に専念 (働かない)	その他	特に希望はない
女性	20代 (n=326)	38.7	21.2	15.0	7.4	17.8
	30代 (n=1,189)	41.2	21.0	17.9	6.5	13.4
	40-44歳 (n=823)	33.4	24.9	20.5	7.2	14.0
	45-49歳 (n=898)	29.6	25.3	23.9	7.6	13.6
	50代 (n=1,607)	33.2	24.3	24.8	6.9	10.9
	60代 (n=1,599)	33.8	17.5	30.3	6.3	12.1
男性	20代 (n=233)	45.9	17.6	7.7	5.2	23.6
	30代 (n=1,026)	42.3	22.6	11.8	3.3	20.0
	40-44歳 (n=657)	37.7	28.2	14.6	4.3	15.2
	45-49歳 (n=943)	32.0	31.5	14.6	4.1	17.7
	50代 (n=1,512)	30.4	29.1	21.2	3.6	15.7
	60代 (n=1,544)	31.3	24.9	30.7	2.7	10.4

## (2) 第一子が生まれた後の配偶者の働き方への望み・どう思っていたか

- ・「子供がいる」人の「理想」では、「夫婦ともに育休・復帰後フルタイム」は、男女ともに年代が若いほど高く、特に「男性20代」で43.1%、「男性30代」で31.5%と3割を超える。反対に「夫:フルタイム/妻:専業主婦」は、男女ともに年代が若いほど低くなっている。特に、「男性20代」「男性30代」では1割を下回り低い。
- ・「現実」は、「夫婦ともに育休・復帰後フルタイム」は、「理想」と同じく男女ともに若い世代で高く、「夫:フルタイム/妻:専業主婦」は年代が上がるほど高い。

### 子供がいる人

(%)

理想		夫婦ともに育休・復帰後フルタイム	夫:フルタイム/妻:専業主婦(働かない)	妻だけ育休・復帰後、夫婦ともにフルタイム	夫婦ともに短時間勤務	夫:フルタイム/妻:短時間	夫:フルタイム/妻:パート・アルバイト	その他	覚えていない・特に希望はなかった
女性	20代 (n=215)	19.5	14.9	24.2	0.5	11.2	7.0	1.4	21.4
	30代 (n=932)	15.7	24.5	21.8	1.0	10.4	8.3	1.5	17.0
	40-44歳 (n=688)	13.1	33.0	15.7	0.3	7.3	7.3	2.5	20.9
	45-49歳 (n=753)	7.7	39.2	15.8	0.9	7.2	7.2	1.1	21.0
	50代 (n=1,495)	6.6	43.6	12.8	0.7	6.7	5.6	2.0	22.0
	60代 (n=1,692)	6.3	45.3	10.9	0.6	5.0	4.8	2.4	24.8
男性	20代 (n=123)	43.1	3.3	12.2	0.8	2.4	1.6	10.6	26.0
	30代 (n=769)	31.5	9.8	23.0	2.1	3.3	2.3	5.7	22.4
	40-44歳 (n=533)	24.4	14.3	24.6	1.1	4.7	3.4	5.3	22.3
	45-49歳 (n=773)	18.4	21.1	18.1	0.9	4.8	4.4	4.9	27.4
	50代 (n=1,302)	9.8	27.5	14.6	0.4	4.9	5.1	3.4	34.3
	60代 (n=1,441)	7.2	40.5	11.2	0.6	5.1	5.1	2.8	27.5

(%)

実際にどうだったか(現実)		夫婦ともに育休・復帰後フルタイム	夫:フルタイム/妻:専業主婦(働かない)	妻だけ育休・復帰後、夫婦ともにフルタイム	夫婦ともに短時間勤務	夫:フルタイム/妻:短時間	夫:フルタイム/妻:パート・アルバイト	その他	覚えていない
女性	20代 (n=215)	11.2	30.2	20.0	0.0	7.4	5.6	2.8	22.8
	30代 (n=932)	7.8	34.7	19.7	0.8	9.3	8.8	2.5	16.4
	40-44歳 (n=688)	5.5	40.8	16.4	0.1	7.8	6.8	3.8	18.6
	45-49歳 (n=753)	4.1	48.5	11.4	0.4	6.1	8.9	2.0	18.6
	50代 (n=1,495)	2.9	52.8	9.6	0.2	4.4	7.1	3.5	19.5
	60代 (n=1,692)	2.5	49.8	9.0	0.4	4.0	6.1	3.6	24.6
男性	20代 (n=123)	35.0	8.9	15.4	0.8	2.4	0.0	11.4	26.0
	30代 (n=769)	18.6	17.3	24.3	1.3	4.9	3.6	7.7	22.2
	40-44歳 (n=533)	13.7	21.4	25.5	0.8	6.6	5.8	5.6	20.6
	45-49歳 (n=773)	9.8	30.5	18.4	0.8	5.8	5.0	4.9	24.7
	50代 (n=1,302)	6.1	34.2	12.7	0.4	4.8	6.2	3.6	32.0
	60代 (n=1,438)	3.5	45.1	10.9	0.3	4.3	4.9	2.7	28.2

## (2) 第一子が生まれた後の配偶者の働き方への望み・どう思っていたか

・「子供がいない」人の「理想」では、「夫婦ともに育休・復帰後フルタイム」は、男女ともに年代が若いほど高く、「子供がいる」と同じ傾向。「夫:フルタイム/妻:専業主婦」は、男女ともに年代が若いほど低くなっているが、特に女性で「子供がいる」人に比べ、「子供がいない」人で「夫:フルタイム/妻:専業主婦」の値が低い傾向にある。

### 子供がいない人

(%)

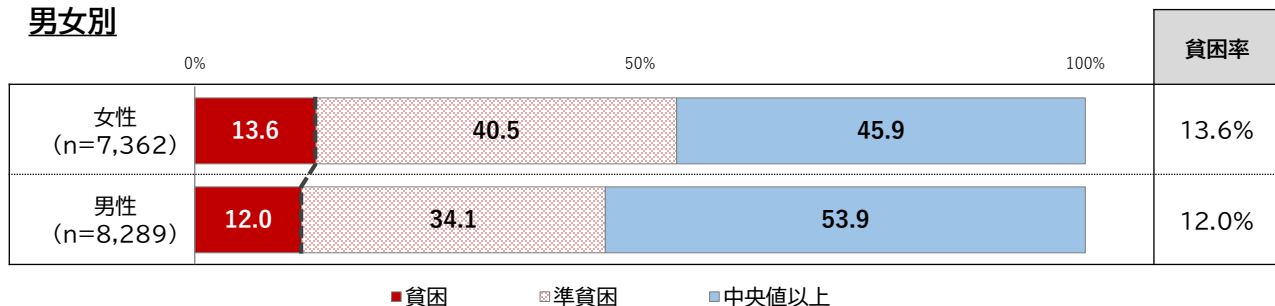
理想		夫婦ともに育休・復帰後フルタイム	夫:フルタイム/妻:専業主婦(働かない)	妻だけ育休・復帰後、夫婦ともにフルタイム	夫婦ともに短時間勤務	夫:フルタイム/妻:短時間	夫:フルタイム/妻:パート・アルバイト	その他	特に希望はない
女性	20代 (n=824)	25.4	6.9	22.2	2.9	8.9	8.6	3.2	22.0
	30代 (n=415)	22.2	14.7	18.3	2.9	8.7	9.6	2.2	21.4
	40-44歳 (n=133)	11.3	21.1	15.8	0.0	15.0	6.8	3.0	27.1
	45-49歳 (n=101)	6.9	16.8	12.9	3.0	7.9	14.9	2.0	35.6
	50代 (n=117)	9.4	17.9	16.2	1.7	12.0	7.7	1.7	33.3
	60代 (n=90)	8.9	31.1	10.0	3.3	2.2	7.8	2.2	34.4
男性	20代 (n=731)	30.5	4.5	15.0	6.3	4.4	2.2	8.5	28.6
	30代 (n=485)	29.9	4.9	13.8	3.5	5.6	4.3	5.6	32.4
	40-44歳 (n=185)	25.9	4.3	15.1	2.2	5.4	3.8	7.0	36.2
	45-49歳 (n=202)	23.3	5.9	14.9	2.5	8.4	3.0	5.0	37.1
	50代 (n=214)	15.4	7.5	15.4	4.7	8.9	3.3	1.9	43.0
	60代 (n=153)	16.3	19.6	7.2	3.3	9.8	2.6	2.0	39.2

## 7. 貧困と幸福度

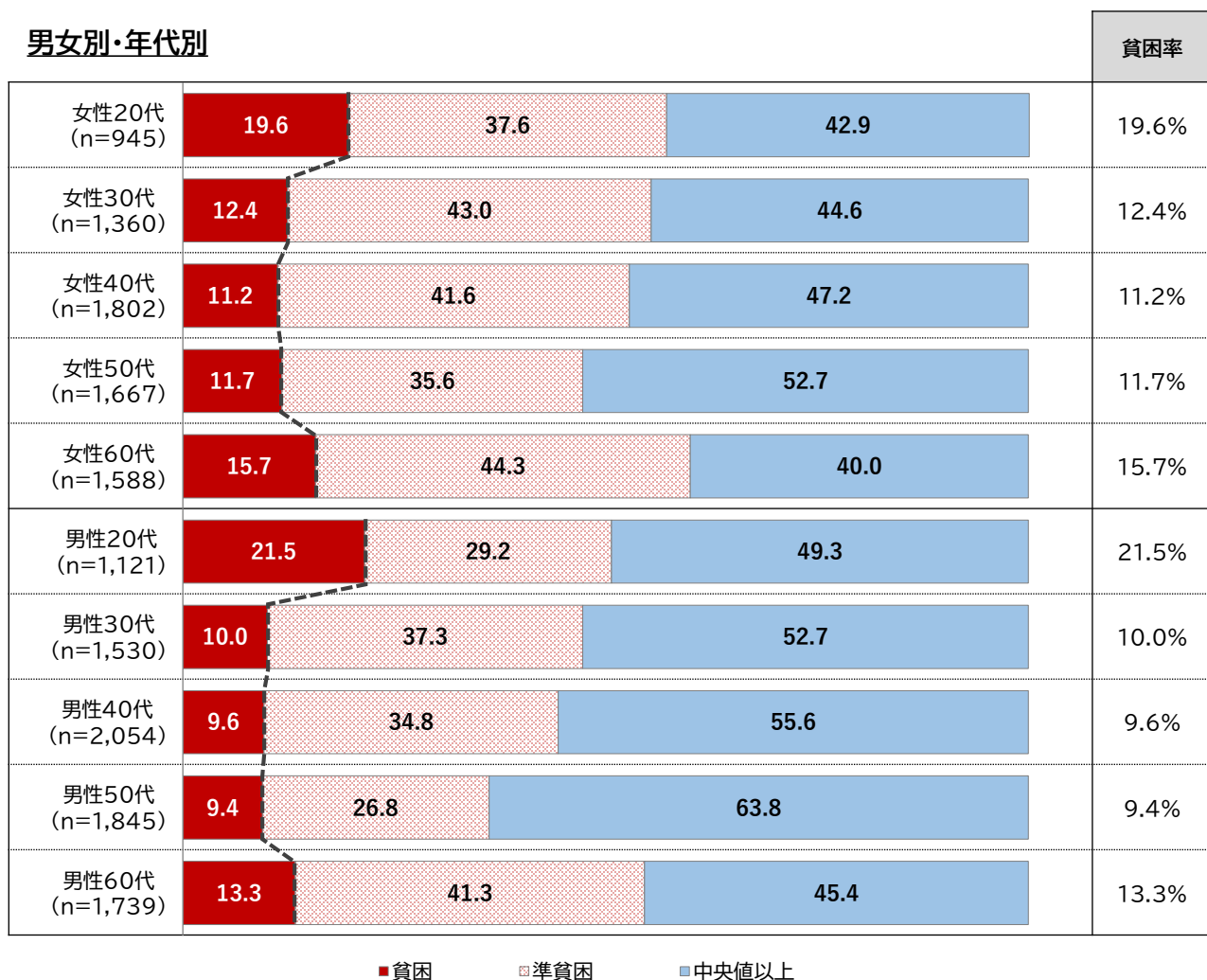
### (1) 貧困率

- ・貧困率について、男女別で見たところ、「女性」で13.6%、「男性」で12.0%。
- ・男女別・年代別では、「男性20代」で21.5%と最も高く、次いで「女性20代」で19.6%と、20代で貧困率が高い。男女ともに「30代」～「50代」で貧困率は低くなるが、「60代」では上昇し、特に「女性60代」で15.7%。

#### 男女別



#### 男女別・年代別

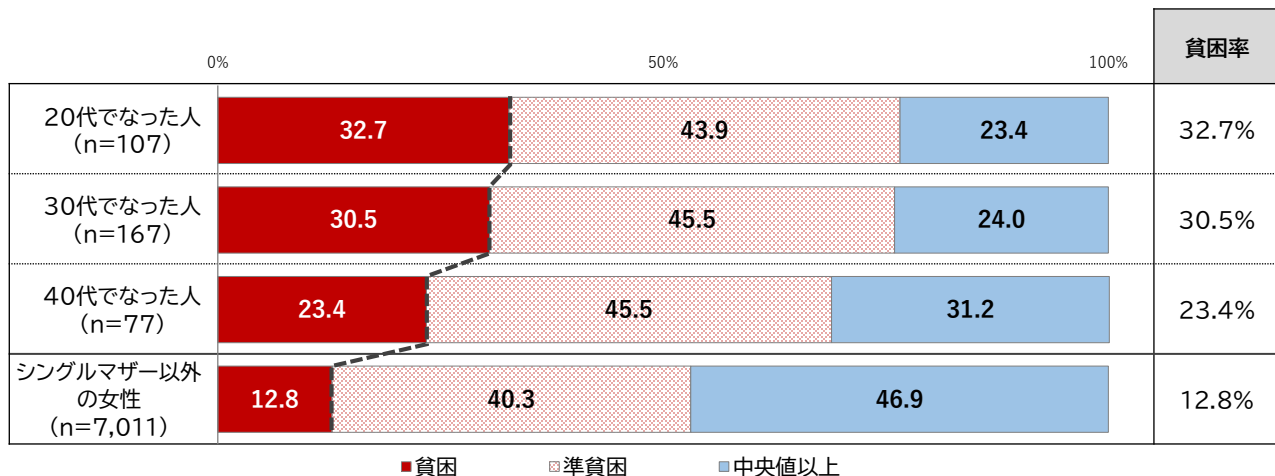


※等価可処分所得の中央値(ちょうど真ん中の人の値)の半分を貧困線という。世帯の等価収入がそれ未満であるとき、一般にそうした世帯を「貧困層」と呼び、その割合を「貧困率」という。本調査では可処分所得を測定していないため、かわりに世帯収入を用いる。世帯収入を世帯人数の平方根(4人世帯なら2)で割ったものを等価収入といい、本調査では平均379.9万円、中央値350.0万円であった(n=15,651)(世帯収入の計算では1円～50万円なら25万円など各回答の中央値を用い、2,000万円以上は2,000万円とした)。その結果、貧困線は175万円となった。ここでは等価収入がそれ未満の世帯を「貧困層」、貧困線以上で中央値未満を「準貧困層」、中央値以上を「中央値以上層」と呼ぶ(準貧困概念はNPO法人キッズドア理事長渡辺由美子氏の示唆による)。

## (1) 貧困率

・シングルマザーについて貧困率を見たところ、「20代でなった人」が最も高く32.7%、次いで「30代でなった人」が30.5%、「40代でなった人」23.4%と、若い年代でシングルマザーとなった人の方が貧困率が高い。

### 【シングルマザーの貧困率】





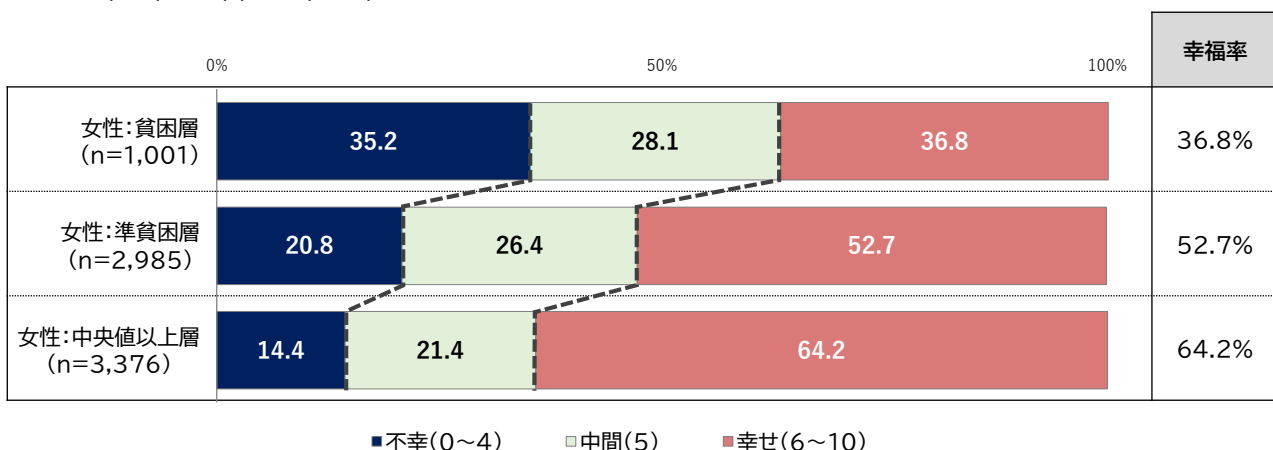
## (2) 貧困と幸福度

- ・貧困の度合い別に現在の幸福度を見たところ、「女性：貧困層」で最も幸福率は低く36.8%、一方で「女性：中央値以上層」は64.2%と差が大きい。
- ・男性も女性と同様の傾向も、「男性：貧困層」で「幸福率」は28.9%と、「女性：貧困層」の方が7.9%ポイント高い。同様に、「男性：中央値以上層」は52.8%と、こちらも「女性：中央値以上層」の方が11.4%ポイント高い。

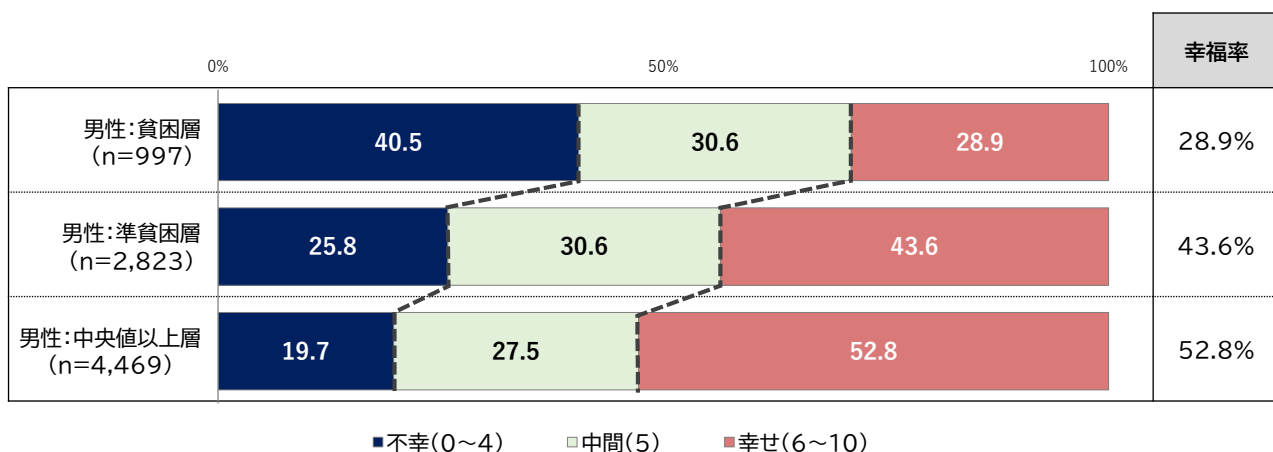
### 【貧困層の幸福度】

※現在の幸福度について、下記の11段階で聞いたものを、不幸(0~4)、中間(5)、幸せ(6~10)の3区分で記載

※幸福率とは6以上の合計



※幸福率とは6以上の合計



## (2) 貧困と幸福度

・シングルマザーについて、現在の幸福度を見たところ、「30代でなった人」「20代でなった人」は「幸福率」が4割以下と低く、「40代でなった人」は45.9%。一方で、「シングルマザー以外の女性」は53.1%と5割を超えて高い。

### 【シングルマザーの幸福度】

※現在の幸福度について、下記の11段階で聞いたものを、不幸(0~4)、中間(5)、幸せ(6~10)の3区分で記載

※幸福率とは6以上の合計

